

日本社会情報学会通信

Vol.26 No.1 2011.4.1

日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4 B1

NPO 法人 i コミュニティ内

TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

E-mail office@jasi.info

U R L <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/>

*本学会通信の掲載内容は、HPに掲載

☆ 2011 年日本社会情報学会 (JSIS&JASI) 合同研究発表大会開催について☆

2011 年日本社会情報学会 (JSIS&JASI) 合同研究発表大会の検討が進められています。
今後開催される理事会の報告の後に、学会HP等でアナウンスする予定です。
会員の皆様方におかれましては、学会HPでご確認いただきますようお願い申し上げます。

2011 年日本社会情報学会 (JSIS&JASI) 合同研究発表大会 (予定)

- 【主 催】** 日本社会情報学会 (JASI)
日本社会情報学会 (JSIS)
- 【開催期日】** 2011 年 9 月 9 日 (金) ~ 11 日 (日)
・「エクスカージョン」(見学): 9 月 12 日 (月) (予定)
- 【会 場】** 静岡大学 (浜松キャンパス)
- 【テーマ】** 「地域社会の情報ネットワークとガバナンス」

☆ 2011年日本社会情報学会（JSIS&JASI）合同研究発表大会 ☆ 研究発表等募集のお知らせ

学術委員長 田中 秀幸

2011年日本社会情報学会（JSIS&JASI）合同研究発表大会について、研究発表を下記の要領により募集いたします。今回の大会は、前回までとは異なり、申込方法や時期が異なりますので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

研究発表は、例年、1件につき約30分となっています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子自治体・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、災害情報など例年自由にお考えいただいています。

大会におきます研究発表につきましては、9月に研究発表賞選考委員会を開催し、座長、討論者及び大会参加者の方々の投票にもとづきまして、研究発表賞の選考を行う予定に致しております。

また、ワークショップの企画も同様に募集します。研究発表と同じ締切日までにご応募下さい。

多数の皆様の発表をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

日時：2011年9月9日(金),10日(土),11日(日)

・「エクスカッション」(見学): 9月12日(月)予定

会場：静岡大学(浜松キャンパス)

発表申込および論文集原稿締切:2011年6月15日(水)

※発表申込と原稿締切の日付が同じです。昨年までのように分かれていませんので、ご注意下さい。

申込用紙及び執筆要綱などの詳細については、学会HPや学会メーリングリストを通じてご連絡しますので、ご留意ください。

(1) 発表申込要領

決まり次第、学会HP、学会メーリングリスト等でご連絡します。

(2) 研究発表論文原稿執筆要領(予定)

ご参考までに昨年度の例を踏まえた留意点をお伝えします。正式なものは学会HP、学会メーリングリスト等でご案内しますので、そちらをご覧ください。

(a) 原稿作成について

1. A4版、4ページ又は6ページで図表を含みます(所定のページを越えた場合には、その分を削除させていただきますので、ご注意ください)。
2. 例年、モノクロ印刷となっております。図表の掲載に当たっては、モノクロでも判別可能となるようご注意ください。
3. 原稿の1ページ目は、上から「和文題名、英文題名、発表者名・所属(和文)、発表者名・所属(英文)、英文アブストラクト(100語以内)」の順でお願いいたします。なお、発表者が複数の場合、発表者名の頭に○印を付して下さい(研究発表賞の対象となる大学院生の場合には、○(一重丸)ではなく、◎(二重丸)を付して下さい)。

(b) 原稿について

1. 研究発表論文集に掲載された論文の著作権は、日本社会情報学会(JSIS&JASI)に帰属するものとします。

【注】執筆要領については、確定次第、学会HP、学会メーリングリスト等を通じてご連絡しますので、ご確認ください。

☆平成23年度・学会賞候補推薦について☆

平成23年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会
会長 廣松 毅

<表彰候補者の推薦締め切り>

種 類	締 切 日
大学院学位論文賞	23年4月22日（金）
優秀文献賞	23年5月20日（金）
優秀論文賞	同 上
論文奨励賞	同 上
学会功労賞	同 上
社会情報システム貢献賞	同 上
*「秋山穰賞」	

*「秋山穰賞」については、別途実施要綱による選考とする。

[功労選考委員会]

- 選考区分：
- ・学会功労賞
 - ・社会情報システム貢献賞

[文献論文選考委員会]

- 選考区分：
- ・優秀文献賞
 - ・優秀論文賞
 - ・論文奨励賞
 - ・大学院学位論文賞
 - ・研究発表賞

※各推薦書は、コピー（A4に拡大）してご利用下さい。
また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰
候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。

平成22年12月1日
* 22/12/1発行学会通信の再掲

日本社会情報学会

第14回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会
会長 廣松 毅

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成22年4月1日～平成23年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきまして表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となつていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

- (1) 修士論文・・・大学院学位論文賞（修士）
- (2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞（博士）
- (3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞（博士）

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

記

1. 受付期限 平成22年4月22日(金)*必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザB1
NPO法人iコミュニティ内
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 添付書類 学位論文四編（論文のコピーで結構です）
同学位審査要旨四通
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
5. 推薦者資格 本学会正会員（入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上

平成23年4月1日

日本社会情報学会 優秀文献賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学会
会長 廣松 毅

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条（2）優秀文献賞につき、下記により、表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。なお、優秀文献賞は、本学会正会員の公表した著書、翻訳書等で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な文献に贈られる賞となっております。また、対象となる文献の公表時期は、平成21年4月1日から平成23年3月31日と致します。

記

1. 受付期限 **平成23年5月20日（金）必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザB1
NPO法人iコミュニティ内
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一文献
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 推薦者資格 本学会正会員

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会
優秀文献賞表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による優秀文献賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦文献名] _____
出版社等名称 : _____
発行年月日 : _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成23年4月1日

日本社会情報学会 優秀論文賞・論文奨励賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学会
会長 廣松 毅

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(3) 優秀論文賞、(4)論文奨励賞につき、下記により、それぞれの表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。

なお、優秀論文賞は、本学会正会員が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞であり、論文奨励賞は、本学会正会員である新進の研究者が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞となっております。また、対象となる論文の公表時期は、平成22年4月1日から平成23年3月31日と致します。

記

1. 受付期限 **平成23年5月20日（金）必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザB1
NPO法人iコミュニティ内
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一編
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 添付書類 推薦論文三通（論文の抜き刷りないしコピーで結構です）
5. 推薦者資格 本学会正会員

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会
優秀論文賞表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による優秀論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[論文掲載誌名] _____
発行学会等名称 _____
第 _____ 卷, 第 _____ 号, _____ ~ _____ ページ
[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成 年 月 日

日本社会情報学会
論文奨励賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による論文奨励賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[論文掲載誌名] _____
発行学会等名称 _____
第 _____ 卷，第 _____ 号， _____ ～ _____ ページ
[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成23年4月1日

日本社会情報学会・学会表彰候補者の推薦お願い
〔学会功労賞〕〔社会情報システム貢献賞〕

日本社会情報学会
会長 廣松 毅

下記により、日本社会情報学会の平成20年度・標記表彰候補の推薦をお願い致します。

1. 受付期限 **平成23年5月20日（金）必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 功労選考委員会
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザB1
NPO法人iコミュニティ内
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、1件1部。
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 推薦者資格 本学会正会員。

なお、学会表彰の区分及び対象は、日本社会情報学会表彰規則第2条に基づき以下の通りとする。

- (1) 学会功労賞
本学会の発展に著しく功労のあった者
- (2) 社会情報システム貢献賞
本学会の大会、研究会、学会誌で公表した研究もしくは発表で、社会情報システムの発展に特に貢献したと認められる個人または団体

表 彰 候 補 推 薦 書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則により表彰の候補を推薦致します。

[推薦者]

(ふりがな) 氏 名	
連絡先住所	〒 TEL () FAX () E-mail :

記

[推薦候補者または推薦候補団体の名称] * 多人数の場合は、その代表者名。

[表彰区分] * 該当区分の□に√を付す。

学会功労賞 社会情報システム貢献賞

[表彰対象事項]

[表彰事由]

< 添付資料 >

受付： 年 月 日

受付者氏名：

☆ 統合委員会報告 ☆

【第1回「統合に向けた合同委員会」】

日 時 12月11日(土)

会 場 東京大学

出席者 6名(順不同・敬称略)

伊藤 守 (JSIS 会長) 安田孝美 (JSIS 副会長)

遠藤 薫 (JSIS 副会長 JASI 副会長 JASI 元会長)

太田敏澄 (JASI 元会長) 須藤 修 (JASI 副会長 JASI 元会長)

廣松 毅 (JASI 会長)

- 1 本日の打ち合わせ会をもって「統合に向けた合同委員会」を正式に発足し、第1回会議とする
- 2 「合同委員会」の下に、「専門作業部会」を設置する。各専門部会に事案の検討を委託し、報告書を「合同委員会」に提出する。中間報告を2011年6月、最終報告を秋の大会頃までと考える。

・法務・財務部会

・研究活動部会

・学会誌発行部会

・渉外担当部会

・賞罰担当部会

・移行作業部会

・広報・HP担当部会

- 3 「合同委員会」の権限

・統合に向けたすべての案件の判断の権限は「合同委員会」に委託されている

・「合同委員会」のメンバーは、主要な作業部会にもメンバーとして参加する

次回の会合は2011年1月23日(日)に早稲田大学で行う。それまでに、両学会で各専門作業部会に属するメンバーを確定する。

【第1回「統合に向けた合同委員会」審議・決定事項】

出席者 JSIS：伊藤、遠藤、安田

JASSI：廣松、遠藤、須藤、太田

- 1 「統合に向けた合同委員会」の下に、以下の「専門作業部会」を設置する。
「専門作業部会」は、「合同委員会」の諮問内容に基づいて、当該専門分野の課題を検討し、中間報告を2011年の6月末、最終報告書を2011年秋に提出する。
統合に向けたすべての案件に関する最終判断は「統合に向けた合同委員会」に付託されているものとする。
- 2 法務・財務部会
委員長＝廣松、伊藤 委員＝JSIS黒葛、藤井、今田、JASI太田、後藤、五藤、和泉(恵)
- 3 研究活動部会
委員長＝正村 副委員長＝田中 委員＝JSIS大國、吉田、JASI山本、榎、新川
- 4 学会誌発行部会
委員長＝遠藤 桜井 委員＝JSIS橋元、岡田、今田、JASI五藤、岡田、小郷
- 5 渉外担当部会
委員長＝福田 副委員長＝北村、委員＝JSIS阿部、守弘、JASI尾関、今井、前田
- 6 表彰部会

委員長＝太田 副委員長＝遠藤 委員＝JSIS伊藤（群馬）、西垣、JASI＝島田、有馬

7 移行作業専門部会

委員長＝黒須 副委員長＝五藤 委員＝JSIS伊藤、柴田、JASI廣松、木村、須藤

8 広報HP部会

委員長＝五藤 副委員長＝安田 委員＝JSIS服部 JASI中井、佐藤、味水、和泉（恵）

☆ 理事会報告 ☆

【第4回理事会報告】

日 時 平成22年12月2日（木）13:00-14:30

会 場 中央大学駿河台記念館560会議室

出席者 順不同 13名 安藤、今井、尾関、河又、小向、桜井、田中、辻井、平林、廣松、前田、刀川、和泉

議 事

- 1 新会員の入会承認
- 2 委員会報告
- 3 合同研究発表大会決算報告
- 4 その他学会運営に関する事項

議事概要

1. 資料に基づき、第3回理事会議事録の承認
2. 資料に基づき、入会3名、退会5名を承認した。
3. 資料に基づき、事務局より現時点での収支報告、会員内訳の報告があった。
4. 資料に基づき、田中学術委員長より、第4回、第5回学術委員会の報告があった。
5. 資料に基づき、第12回研究発表賞を承認した。
6. 資料に基づき、前田理事より、企画委員会報告があった。
7. 資料に基づき、河又理事より、大会会計報告があり、それを承認した。
8. 資料に基づき、廣松会長より、第1回 JSIS、JASI の打ち合わせ会の確認事項について報告があった。

「統合に向けての合同委員会」における下部組織、専門作業部会のメンバー選出については、会長一任とした。

委員会における議事録は、HPにおいて公開。

次回は4月開催予定。

☆ 研究会報告 ☆

[第 124 回定例研究会]

日 時 12月23日(木)
会 場 東京大学駒場キャンパス
テーマ 情報ネットワーク研究における質的研究
第2回「パブリック・エスノグラフィー」
講 師 天笠邦一(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科後期博士課程、藤沢市政策研究員)
木村周平(富士常葉大学大学院環境防災研究科)

[第 125 回定例研究会]

日 時 1月21日(金)
会 場 電気通信大学
テーマ ソーシャル・メディア(第17回社会情報システム学シンポジウム)

[第 126 回定例研究会]

日 時 1月26日(水)
会 場 全国町村会館
テーマ アクセンチュアのワークスタイル・ワークプレス戦略
講 師 宇佐見 潮(アクセンチュア株 執行役員 統括本部長)

[第 127 回定例研究会]

日 時 2月19日(土)
会 場 東京大学駒場キャンパス
テーマ 情報ネットワーク研究における質的研究
第3回「ビジネス・エスノグラフィー」
講 師 田村 大((株)博報堂・イノベーション・ラボ上席研究員/東京大学 i.school(イノベーションスクール)ディレクター)
鵜飼 孝典((株)富士通研究所ナレッジテクノロジー研究部)
久保隅 綾(大阪ガス行動観察研究所主任研究員)

[第 128 回定例研究会]

日 時 2月21日(月)
会 場 東京大学本郷キャンパス
テーマ 不祥事と研究者倫理: マスメディア分析と科学研究者の視点から
講 師 白楽ロックビル(お茶の水女子大学教授)

[第 129 回定例研究会 JASI 特別企画 ICT フォーラム 2011] 予定

日 時 6月18日(土)
会 場 東京大学駿河台記念館 670号室
テーマ 未定
講 師 未定

[第 61 回情報政策研究会]

日 時 12月2日(木)
会 場 中央大学駿河台記念館
テーマ 教育の情報化

講 師 齋藤 晴加（文部科学省生涯学習政策局 参事官）
安間 敏雄（総務省情報通信利用促進課長）

[第 62 回情報政策研究会]

日 時 1 月 26 日（水）
会 場 全国町村会館
テーマ アクセンチュアのワークスタイル・ワークプレス戦略
講 師 宇佐見 潮（アクセンチュア(株) 執行役員 統括本部長）

☆ 委員会報告 ☆

[学術委員会]

● 第 6 回学術委員会

<日時> 平成 23 年 1 月 23 日（日）12:00～12:20
<会場> 早稲田大学本部キャンパス 16 号館 605 号室
<出席者> 安藤明之（東経大）、和泉潤（名産大）、岩井淳（群馬大）、
遠藤薫（学習院大）、太田敏澄（電通大）、岡田勇（創価大）、
五藤寿樹（日本橋学館大）、佐渡一広（群馬大）、桜井成一朗（明治学院大）
税所哲郎（群馬大）、田中宏和（静岡大）、田中秀幸（東大）、
新川達郎（同志社大）、廣松毅（情報セキュリティ大）、
山本佳世子（電通大） [敬称略]

<議事>

1. 平成 22 年度第 5 回学術委員会議事録案 了承。
 2. 平成 23 年度の全国大会
 3. 研究者倫理研究部会
 4. その他
- ・次回の学術委員会は、
早稲田大学本部キャンパス 16 号館 605 号室で、3 月 29 日（火）12 時より開催予定

☆第 17 回社会情報システム学シンポジウム開催報告☆

環境・教育・GIS研究部会 主査 太田敏澄（電気通信大学）
幹事 諏訪博彦（電気通信大学）

日本社会情報学会（JASI）「環境・教育・GIS」研究部会では、第 17 回社会情報システム学シンポジウム（第 125 回定例研究会）を、社会情報システム学研究会の主催、経営情報学会（JASMIN）「社会情報と情報ネットワーク」研究部会、電気通信大学 Social Informatics（社会情報学）研究ステーションとの共催にて、2011 年 1 月 21 日（金）に電気通信大学情報システム学研究科棟にて開催致しました。

このシンポジウムは、ユビキタス時代の社会情報システムのシナリオを描くべく、人文・社会科学的情報概念と自然科学的情報概念の統合を企図し、高度でかつ幅広い議論ができますことを願って開催致しております。お陰様をもちまして、64 名の方々のご参加を戴き、盛会のうちに開催することができましたことに、深く感謝致しております。

来年同時期には、第 18 回のシンポジウムを企画する予定に致しておりますので、ご研究発表をはじめ、ご関心のある多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

第 17 回のシンポジウムでは、「ソーシャルメディア」をテーマとして掲げるとともに、新しい試みとして、オーガナイズド・セッションを設けました。このセッションのテーマは、社会シミュレーションで、このテーマをめぐって活発な議論が行われました。

また、特別講演として、「ソーシャルメディアのマイニングと可視化」（藤村考氏、NTTサイバーソリューション研究所メディアコンピューティングプロジェクト主幹研究員）のご講演を戴きました。このご講演は、現在、世界中で活発に研究されているソーシャルメディアからのマイニング研究を俯瞰するものとなっており、マイニング対象としての同データの特徴のご指摘や、その切り口発見に資するマイニングパターンの選択肢レイヤのご提案は、ご自身のトラベルルート推薦技術などの研究例とともに、今後この領域の研究を展開する上で大変有意義なご論考と拝聴しました。

さらに、公募による一般セッション講演では、28 件のご研究発表がありました。一般セッションでのご講演は、

- [1] 消費者行動 [2] インバースと行政改革 [3] 金融とリスク [4] 社会シミュレーション
[5] ソーシャルメディア [6] 経営活動の分析と改善 [7] 地方自治体と ICT

の 7 つのセッションにより行われました。

いずれのご講演も、時代の要請にもとづいた概念的、理論的ないし方策的なご研究の成果を披瀝して戴いたご講演であり、この領域の研究がますます盛んになることを確信することができました。

なお、一般セッションでのご講演の題目につきましては、社会情報システム学研究会のホームページ <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/> に、これまでの回のご講演題目を含めて掲載致しておりますので、ご覧戴けますよう宜しくお願い致します。また、学術講演論文集に掲載された論文の抄録は、独立行政法人科学技術振興機構のデータベース（JDream II の JSTPlus）に登録しておりますので、ご参照下さい。

また、学術講演論文集（ISSN：1882-9473）に余裕がございますので、ご希望の方に、実費 ¥1,000 にて頒布致します。お申し込みは、第 17 回社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集購入ご希望の旨、ご送付先住所、お名前、tel または fax 番号を添え、e-mail: ohta@is.uec.ac.jp または fax: 042-443-5660 太田敏澄宛に、お願い致します。代金につきましては、郵便振込口座番号 00150-2-539320 社会情報システム学研究会宛に、学術講演論文集到着後、お振り込み下さいますようお願い致します。

部数に限りがございますので、先着順にてご容赦下さい。

<お問い合わせ先> 社会情報システム学研究会事務局 研究会代表 太田敏澄
FAX&TEL: 042-443-5660, e-mail: ohta@is.uec.ac.jp
電気通信大学 大学院情報システム学研究科 社会知能情報学専攻
社会情報システム学講座 URL: <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/>

☆ 事務局だより ☆

平素より、本学会の活動へのご理解とご支援に感謝申し上げます。
また、東北地方太平洋沖地震により、被災された皆様には衷心よりお見舞い申し上げます。
さて、下記のとおり 3 件、ご連絡いたします。よろしく願いいたします。

* ホームページ

国立情報学研究所のサーバは計画停電ため、運用時間帯が限られています。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

* 会費納入のお願い

2011 年度会費につきまして、同封いたしました郵便払込票または指定の銀行口座へご納入のほどお願い申し上げます。

ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。
主旨ご理解の上、重ねてよろしくお願い申し上げます。

* 事務局仮移転

4 月 1 日より、事務局を同ビル内に仮移転いたしました。学会統合を視野に入れ、新たな事務局所在地が決定次第、ご連絡いたします。

現在、電話、ファックス、メールアドレスに変更はございません。

○連絡先

〒182-0013

東京都三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ B1 NPO 法人 i コミュニティ内

日本社会情報学会

TEL/FAX : 0422-40-2062

E-mail : office@jasi.info

平成 17 年度より事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週 2 日ほどです。
メールでの対応はその限りではありません。

会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。

宛先 FAX 0422-40-2062 E-mail office@jasi.info